

# 一般介護予防事業転倒骨折予防教室業務委託仕様書

## 1. 業務名

一般介護予防事業転倒骨折予防教室業務

## 2. 目的

介護保険法（平成9年法律第123号）による地域支援事業の一般介護予防事業として、介護予防を目的とする。高齢者は転倒により骨折につながる確率が高いため、専門職による転倒骨折予防運動を提供することで要支援、要介護状態になることを予防する。また、自宅でも継続して運動ができるように知識の普及、啓発を行う。

## 3. 対象者

香芝市に住所を有する65歳以上の者

## 4. 履行場所

香芝市総合福祉センター内

## 5. 業務内容

(1) 会場準備

(2) 受付

(3) 運動指導

対象者が自宅で実践可能な1回45分程度の転倒骨折予防のための運動を実施

もっとゆっくりコース：プレフレイル者、運動初心者も実施できる運動

ゆっくりコース：後期高齢者を想定した、椅子に座って行う運動

しっかりコース：前期高齢者を想定した、立って行う運動

(4) 会場の後片付け

(5) 評価、報告等

## 6. 実施時間

8時40分から14時40分まで

ただし、3部の入れ替え制とし、以下の時間で実施

1部：9時30分から10時15分まで（受付時間9時20分から）

2部：10時40分から11時25分まで（受付時間10時30分から）

3部：13時15分から14時まで（受付時間13時5分から）

## 7. 実施日

令和8年6月3日から令和9年3月24日まで、全40日

実施日は別紙1のとおりとする。気象警報発令や感染症の拡大を防ぐ等の理由で開催できない場合、振替日は設定しない。

## 8. 定員

1部、2部ともに各33名、3部は20名（教室参加者の決定は、発注者が行う。）

## 9. 従事者

以下の職種から各1名以上の従事者を確保して実施する。

- (1) 運動指導を行うスタッフとして、リハビリテーションに関する専門的知見を有する者（理学療法士、作業療法士又は健康運動指導士等）
- (2) 参加者に異変が生じた場合に処置を施し医療機関との連携をとるなど、健康管理を行う者（保健師又は看護師）
- (3) 1部、2部において、運動指導を行うスタッフと連携をとりながらプログラムの補助を行う者（補助員）

## 10. 記録の作成、報告

以下の記録を作成し報告を行うこと。

- (1) 実施計画書
- (2) 実施報告書（事業開催日報告、出席者名簿、実施期間まとめ報告すること。）
- (3) 評価  
基本チェックリストの集計（発注者指定の様式へ入力すること。）  
出席状況（個人参加率、全体参加率）  
教室参加前後評価等
- (4) 安全管理マニュアル
- (5) 事故報告書（事故発生後提出すること。）
- (6) その他、評価表等、発注者が運営上必要とする書類

## 11. 業務委託料

業務委託料の支払い方法は原則分割払いとし、月初めに提出される事業実施状況報告書に基づいて月ごとの教室実施回数に単価を乗じて得た額を支払う。ただし、受託者が希望する場合は、年度実績での一括払い又は事業実施期間ごとに支払うことができることとする。

## 12. リスク管理、損害賠償について

受注者は参加者の事故に対応するため、傷害保険に加入しておくこと。

受注者の故意又は重大な過失により、参加者に損害を与え発注者の発注者が賠償の責を負った場合、発注者は賠償の上で、受注者に対し、求償権を行使する。また、受注者が、故意又は過失により発注者に損害を与えた場合は、受注者がその賠償の責を負う。

## 13. 業務を実施するに当たっての留意事項

- (1) 個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、香芝市個人情報の保護に関する法律施行条例（令和4年条例第23号）その他法令に定めるもののほか、香芝市の個人情報取扱特記事項を守らなければならない。
- (2) 下記の①～④についても業務内容に含む。
  - ① 香芝市介護福祉課、国保医療課、健康衛生課との連携
  - ② 香芝市の各地域包括支援センターとの連携
  - ③ 事業見学者の対応

- ④ 利用者の要望及び苦情への対応、回答、問題点の改善
- (3) 本仕様に定めのない事項については、その都度発注者及び受注者が協議の上、決定するものとする。